

【NEW RELEASE】

# 青春時代を思い出させる フレグランス登場。

海辺のリゾート、夜のドライブ、お気に入りのミュージック——。甘く切ない青春の記憶を呼び起こす、新感覚フレグランスの魅力を探る!

取材・文：濱口英樹



オフタイムを演出する香りのパートナー。



80年代の音楽シーンを彩ったAORやフュージョンのLPジャケット。美しい海の写真やアーバンテイストのイラストが定番だが、洋楽では「ジャケット買い」を促すために本国盤とは違うビジュアルに差し替えられるケースもあった



ジョイサイズレーベル  
シーサイド フリーウェイ オードトワレスプレー  
(香調) シトラス・フュージョン

イタリア・シチリア産のレモン香料2種類とフランス産のラベンダー、エジプト産のゼラニウムを贅沢に使用。フレッシュで弾ける柑橘系とアロマティックな香りが絶妙に融合した、デイタイムなイメージのフレグランス。/内容量：30ml

※商品についての詳細・お問合わせは公式サイト ©http://shinforce.co.jpまで



ジョイサイズレーベル  
ライト イン ザ シティ オードトワレスプレー  
(香調) アダルト・オリエンテッド・スパイス

代表的な香木で知られる沈香(アガールウッド)の最高級香料を使用。セクシーでありながら落ち着きのある香りにシナモンスパイスを加えた、大人の佇まいのなかに微かに刺激的な表情が見え隠れするナイトタイムなイメージのフレグランス。/内容量：30ml



Profile 寺岡久和/てらおかひさかず  
昭和46年生まれ。輸入CD卸売会社の営業時代に社内ベンチャーで香水の卸売業を開始。現在は株式会社シンフォースの代表取締役

イムをイメージした「シーサイドフリーウェイ」、ナイトタイムをイメージした「ライトインザシティ」の2タイプがありましたが、共に日本人の嗜好に配慮した、付けこなしやすい香りになっておりますので、今まで香水になじみがなかった方にもぜひ香りのオシャレを楽しんでいただきたいですね」

かつては原液を直接、手首や耳の後ろに付けていたものだが、現在はスプレー式が主流で、タッチアップ(付け直し)も手軽にできるようなった。また、香水は時間の経過と共に3段階で香りが変化していくが、「ジョイサイズレーベル」のパッケージには、通常「トップノート」「ミドルノート」「ラストノート」と呼ばれる3段階の香りが、「ノートA」「ノートB」「ノートC」として表記されている。これもレコードのA面・B面の感覚で香りの変化を楽しんでもらいたいという寺岡流のこだわりだ。

五感のなかで人間の記憶を最も刺激するのは嗅覚だという。それは「本能の脳」と呼ばれる大脳辺縁系に直結した感覚だからだが、ある匂いを嗅いだ瞬間過去の風景や感情が鮮やかによみがえった経験は誰しもあるに違いない。同じように音楽も、その楽曲が流れていた時のシチュエーションを思い出させてくれるが、俺たちが青春を謳歌した80年代は、レコードジャケットのビジュアルもまた楽曲の記憶と密接に結びついていた。

「香水は香りの濃度によって、パルファム(5〜7時間くらい持続)、オードパルファム(5時間程度)、オードトワレ(3〜4時間程度)、オードコロン(1〜2時間程度)に分類されますが、当商品は日本で主流のオードトワレに該当します。デイタイム

このほど発売された「ジョイサイズレーベル」は、80年代を席巻したAORやシティポップのアルバムを想起させる、ジャケット風のイラストをパッケージに採用した新しいコンセプトのフレグランスだ。開発を手掛けたシンフォースの寺岡久和は、自身も大の音楽ファンであることから、香りの世界観を音楽パッケージのイメージで訴求するアイデアを考えついたという。

「以前は百貨店で購入する高級品というイメージが強かった香水ですが、最近はネット通販を利用すれば、正価よりも安くお買い求めいただけるようになってきました。通販サイトでは香りを試さずに、いわゆるジャケット買いをする方も増えていきますので、昭和40年男の皆さんにも、新しいレコードに針を落とす時のワクワク感を当商品で味わっていただけたらうれしいですね」

